



北海道美術史 [1977-2017年] フォーラム

北海道・札幌の美術40年、公開型オーラルヒストリーの試み

第1部 8/11 FRI
19:00～21:00

19:00～19:45

基調講演 [1977-2017年の北海道美術史]

講演者：佐藤友哉 (札幌芸術の森美術館館長)

19:50～21:00

フォーラム [1977-1997年の北海道美術]

モデレーター：吉崎元章 (一般財団法人地域創造総務部参事)

登壇者：小室治夫 (杉山留美子基金代表 / JRタワー ARTBOX
ディレクター) 佐藤友哉 (札幌芸術の森美術館館長)

第2部 9/12 TUE
19:00～20:30

フォーラム [1997-2017年の北海道美術]

モデレーター：樋泉綾子 (公益財団法人札幌市芸術文化財団
市民交流プラザ開設準備室)

登壇者：磯崎道佳 (美術家) 柴田尚 (北海道教育大学教授、
NPO S-AIR 代表) 穂積利明 (北海道立近代美術館主任
学芸員) 梁井朗 (北海道美術ネット主宰・アートブロッガー)

会場 SIAF Official BAR「出会い」

札幌市中央区南1条西6丁目 8-1
第2三谷ビル6階 OYOYO

各回定員30名 先着順

1ドリンク (500円) をお願いいたします。

2000年以降、日本をはじめ世界中で芸術祭が開かれるようになり、ここ札幌でも2014年に札幌国際芸術祭(以下:SIAF)が開催された。SIAFが開催されるまでに、北海道および札幌の美術関係者による不断の努力があったのではないだろうか。しかしながら20年以上遡ると、この地で何が行われてきたのかどのような作品が作られたのかどのような展覧会やアートプロジェクトが開かれたのかどのような個人や組織が存在していたのかなど、過去の事例や状況を知りたくとも情報にたどり着くことが難しい状況である。

そこで、SIAF2017の開催を起点に、これまでの北海道美術史を年表に編纂していくことを考えた。歴史の編纂は常に現在の視点で行われるため、偏りと漏れが生じてしまうが、視線の偏りと漏れを恐れることよりもまず議論の素材となる下地を作り、後世に伝え残すことに重きをおくことにした。そのために、歴史調査の手法のひとつであるオーラルヒストリーを公開で実施する北海道美術史 [1977-2017年] フォーラムを開催する。会場は、SIAF2017のインフォメーションセンター & オフィシャルBARでもある「OYOYO」で、2回に渡り行うこととした。

本フォーラムは登壇者や観客からの発言を引き出し、記憶と記録を掘り起こすことを目的とし、北海道の美術を知る・伝える資料の一部として記録保存し、共有可能なリソースの創出に貢献することを目的に行われる。

2回のフォーラムを通じ、1977年7月20日に開館した北海道立近代美術館の開館を起点に、2017年に開催される札幌国際芸術祭2017までの40年間の射程とする。

8月に開催する第1部では、北海道美術史に関する基調講演を札幌芸術の森美術館館長に行っていただいたのち、北海道の美術をよく知る専門家の方々をお招きし、1977-1997年までの20年間の動向についてお話を伺う。9月に開催する第2部では、1997-2017年までの20年間の動向にフォーカスする。

問い合わせ先 アートとリサーチセンター
札幌市資料館 2階 (札幌市中央区西13丁目)
070-5607-4204 (10:00-18:00)
siaf2017aarc@gmail.com